

穏やかでやすらぎある 暮らしの一助に

ナカヤマ木工

佐賀マイスター
1級家具製作技能士

中山隆博さん



水屋筆筒 (松川蜻蛉)



ショールーム

「あなたがたった一つの家具を選ぶことすら大切と思う方であれば、是非とも中山さんの家具を見て触れてほしい！」これは、ナカヤマ木工の家具を購入された、福岡市の在住のお客様のご意見。ホームページ上に掲載されている。

今月の夢追い人は、ナカヤマ木工の中山隆博さん。

今回は平成二十三年に経営革新の認定を受けた対象製品・木製ダイニングチェア「オルソル」を中心に話を伺った。

ナカヤマ木工は、昭和三十

七年設立の家具メーカー。無垢材を活かした、風合いのあるカントリー家具製造を得意とする、ユニークな企業である。製造方法は、釘を使わない、昔ながらの「ほぞ組」の技法を使う、手作業を重視するやり方。

事業所は大川にあるが、中山さんは佐賀県が認定する、熟練技能者「佐賀マイスター」である。平成二十四年十二月一日現在、現役の佐賀マイスターは、四十四名である。また中山さんは一級家具製作技能士の資格も持つ。職人としてのクオリティは非常に高





木製ダイニングチェア
“オルソル”



い。

経営革新の認定を受けた、木製ダイニングチェア “オルソル” は、どんな製品だろうか。一言で言えば「人間工学に基づいて造られた、心地よい、疲れにくい椅子。」背もたれを反らし、座面を快適にする設計だ。自然素材に対するこだわりにも、プラスチックをもちたせた製品。ウレタンクッションを使った椅子に負けない快適な座り心地を実現した。

開発には、福岡県工業技術

センターインテリア研究所、富山大学芸術文化部河原雅典准教授の協力を得た。

まず、背もたれの部分は、インテリア研究所と二年がかりの試作を重ねてきた。

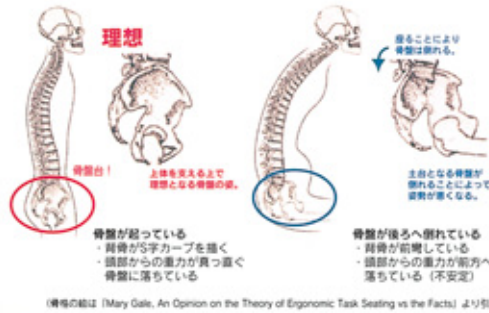
中山さんは従来の木製椅子の欠点についてこう言う。「骨盤が後ろに倒れ、背骨が前傾しやすいのです。従って約六キロの頭部の重さが前方に落ちる事になります。不安定で疲れやすい体勢となってしまう。腰痛、椎間板ヘルニアなどの原因にもなります。」一方オルソルはどうだろうか。

か。こうした問題が見事に克服されている。自然に、骨盤は起き、背骨は適度なS字カーブになるよう設計されているのだ。「頭の重さ、上半身を骨盤でしっかり支える構造なので、快適性、疲れにくさを実現しています。」

座面の開発は、「座りごこちの研究をしている“河原雅典准教授の協力を得た。」

オルソルの骨盤サポートは非常に優れている。土台にな

図 安定した上半身(立位)と不安定な上半身(座位)の骨格



る骨盤をしっかりと保持する形状になっているのだ。また座面にかかる圧が分散するようになっていく。そのため前後左右に微妙に傾斜がつけられている。

普通の椅子に座り、比べてみると、違いがすぐに分かった。「これなら長時間座っても疲れない！」という事を皆さんも実感できるだろう。

オルソルは量産家具とは違う。自然素材特有の温かみを持つている。それは、ブラックチエリー、ウォールナット、アルダーと言った材を削りだして作ったもの。「木の塊」なので、存在感があり、また木の温かみが伝わってくるはずです。また使い込んでいくにつれ、良い風合いになって



落ち着いた雰囲気
“ボガード” シリーズ



かわいくて味のある雰囲気
“ピノキオ” シリーズ

いきます。お客様の穏やかで、やすらぎある暮らしぶりの一助になれば……と、言う思いで制作に励んでいます。」と言われる。

ところで中山さんは、経営革新の認定でどんなメリットが得られたのだろうか？ 通常低利の融資や補助金など、いくつかの恩恵にあずかれるが、中山さんは特に次の二点を挙げた。「一つは会社ホームページのクオリティを高めるため、アドバイザーの援助を得られたことですね。もう一つは従業員を六ヶ月間、給与の全額助成を受けながら雇用できたことですね。」と言われる。

どうぞ、会員事業所の皆様も、「自社は無理かな」と考えずに、積極的に「経営革新計画」を申請してみたいかがでしょうか。